

ペルソナ				ブラグマティック品質						
親ID	名称	子ID	名称	説明	親ID	名称	子ID	名称	説明	
P1	仕事に関わる情報	P1-1	システムに対する希望	製品に対して何を求めているか、また、製品を利用することで何を達成したいか、	U1	合目的性	U1-1	システム目的の独立性	システムの目的がそれぞれ独立して記述されている度合い	
					U1	合目的性	U1-2	業務要求のシステム目的への適合	業務要求がシステムの目的と適合している度合い	
					U2	生産効率性	U2-1	定量的具体性の有無	程度や頻度が具体的に示されている度合い	
					U2	生産効率性	U2-2	要求の独立性	1つの要求に複数の要求が含まれていない、または依存していない度合い	
					U3	堅実性	U3-3	例外要求の網羅	例外について明記してある度合い	
					U3	堅実性	U3-5	一意に特定可能	個々の要求をID等で特定できる度合い	
					U3	堅実性	U3-6	用語集の存在	用語集が存在していること	
					U4	充足性	U4-1	ランク付けの有無	要求の重要度が明記されている度合い	
					U4	充足性	U4-2	用語の整合	SRSの記述内で使用している用語について、意味や表現が整合している度合い	
					U4	充足性	U4-3	動作の整合	SRSの記述内で各動作についての表現が整合している度合い	
U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い						
P1-2	業務に対する考え		業務に対してシステム化すると良いと考えていること、また、システムを利用して簡便化したい業務の内容、	U1	合目的性	U1-2	業務要求のシステム目的への適合	業務要求がシステムの目的と適合している度合い		
				U2	生産効率性	U2-1	定量的具体性の有無	程度や頻度が具体的に示されている度合い		
				U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い		
				U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い		
P2	個人情報	P2-1	身体的特徴	身体的にどのような障害を持っているか、また、それによってシステムを利用する上で不可能なこと、可能なことは何か、	U1	合目的性	U1-1	システム目的の独立性	システムの目的がそれぞれ独立して記述されている度合い	
					U1	合目的性	U1-2	業務要求のシステム目的への適合	業務要求がシステムの目的と適合している度合い	
					U3	堅実性	U3-3	例外要求の網羅	例外について明記してある度合い	
					U4	充足性	U4-1	ランク付けの有無	要求の重要度が明記されている度合い	
					U4	充足性	U4-2	用語の整合	SRSの記述内で使用している用語について、意味や表現が整合している度合い	
					U4	充足性	U4-3	動作の整合	SRSの記述内で各動作についての表現が整合している度合い	
					U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い	
P3	コンピュータ・テクノロジーの利用方法	P3-1	ITに対する態度	新技術についての関心度合い、また、利用して欲しいかどうかの意見、	U1	合目的性	U1-1	システム目的の独立性	システムの目的がそれぞれ独立して記述されている度合い	
					U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い	
		P3-2	ITリテラシ		IT技術の理解度とそれをどの程度応用できるか、	U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い
						U1	合目的性	U1-2	業務要求のシステム目的への適合	業務要求がシステムの目的と適合している度合い
		P3-3	システムの利用環境		現行システムの利用環境、もしくは新規システムで望む利用環境、	U3	堅実性	U3-2	文書の参照関係の明示	情報の起源が明示してある度合い
						U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い
		P3-4	システムに対する知識		現行システムの利用方法について把握していること、また、把握できていないこと、	U3	堅実性	U3-4	変更可能性の明記	将来要求を変更する可能性について明記してある度合い
						U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い
		P3-5	システムの利用頻度		どんなときにシステムを利用し、一日に何回利用するのか、また、利用していない時間はあるか、	U2	生産効率性	U2-1	定量的具体性の有無	程度や頻度が具体的に示されている度合い
						U1	合目的性	U1-1	システム目的の独立性	システムの目的がそれぞれ独立して記述されている度合い
P3-6	システムを利用する理由		システムをなぜ利用するのか、また、どの程度システムを重要としているか、	U1	合目的性	U1-2	業務要求のシステム目的への適合	業務要求がシステムの目的と適合している度合い		
				U4	充足性	U4-1	ランク付けの有無	要求の重要度が明記されている度合い		
P3-7	システムの利用場面		システムを何に利用するのか、また、いつ使用するのか、	U1	合目的性	U1-1	システム目的の独立性	システムの目的がそれぞれ独立して記述されている度合い		
				U1	合目的性	U1-2	業務要求のシステム目的への適合	業務要求がシステムの目的と適合している度合い		
U4	充足性	U4-4	制約条件と要求の整合	要求が制約条件を満たしている度合い						